

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	文学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2月7日（月）～2月25日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>長期留学を目指していたのですが、英語力が足りないと思いステップアップの機会としてオンライン留学に参加しようと思いました。説明会のビデオでインストラクターがフレンドリーに感じたことや、大学からの補助金が出るので自分のアルバイト代で参加費を賄えることもあり、すぐに参加を決定しました。マギル大学を選択したのは、もともと興味があった外国文化について学べるプログラムがあったことが最も大きな理由でした。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
<p>プレースメントテスト(12 月)の準備は特にしませんでした。ただ、テストのためのマイク付きヘッドフォンは買いに行きました。</p> <p>プログラムに向けては、ちょうど IELTS のテストを控えていたためリーディング、リスニング、ライティング、スピーキングの勉強を一通りしていました。マギル大学についての下調べには力を入れていませんでしたが、CP はバーチャルホストとの会話で困らないように、自己紹介で話したいことは考えていました。</p>	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20 名
学習時間/日	1～2 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	<p>8 時～9 時 CP との雑談。日本の学生も京大だけではなかったため、それぞれの住む地域のことなどをスクリーンシェアを使って紹介したり、簡単なクイズをしたりしました。週に一回はモントリオールの街や大学をオンラインで案内してもらいました。</p> <p>9 時 15 分～11 時 15 分 授業 カナダの文化や生活について学びながら、リスニング力とスピーキング力を養いました。ディスカッションが多く、英語を話す機会がたくさんあったのはありがたいことでした。</p> <p>午後 課題 量は思ったよりずっと少なかったです。課題でもリスニングとスピーキングに重点が置かれており、スムーズに話せるように構成を考えるトレーニングになりました。授業内容とリンクしていたのもよかったです。</p>
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	<p>ゲスト講師のスピーチを聞く機会が 2 回もあったことに驚きました。その際、ゲストに対して礼儀正しくというよりはフレンドリーに接していて、初対面の時の対応の、日本との違いに触れることができ面白かったです。日本での授業と違い、ゲストに対してたくさんの質問が寄せられ、学生たちが貪欲に学んでいたことが印象深かったです。</p> <p>一度 Wi-Fi の調子が悪く落ちてしまうトラブルがあったのですが、先生が授業後のメールにすぐに対応してくださったので安心できました。録画してアップロードしてあるので、オンラインならではのトラブルにも比較的容易に対処できる態勢がととのっていました。</p>
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
参加学生はみんな学習意欲が高く、ディスカッションの際にも互いに英語を理解しようとしてくれました。大変雰囲気の良い中で授業ができていたと思います。現地の学生チューターも、事前にトークの話題などを考えてくれていたのでスムーズに話をつなげることができました。皆さんフレンドリーに、分かりやすく	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

指示をしてくれたのでやりやすかったです。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	2.あまり難しくなかった
学習効果	5.とても効果が感じられる
<p>プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)</p> <p>いちばん大きいのは、スピーキングに対する苦手意識が払拭され、英語を使ってコミュニケーションをとることが楽しいと思えたことです。抵抗がなくなったことで、スピーキングもリスニングも上達したと思います。とっさに起きたことを英語で説明できるようになり、自分の変化に驚きました。</p> <p>また、異文化理解の点でも成果がありました。カナダとはもちろんですが、同じ東洋でも中国と日本では食文化が異なることなどを知り、各国の学生からの紹介を興味深く聞いていました。現地学生とは、あらかじめ決められていたパートナーではありましたが良い関係を構築することができ、はじめて海外の同年代の友人ができた感覚が新鮮でした。これから積極的に異文化出身の友人をつくって、英語で会話してみたいと思います。</p>	
<p>今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス</p> <p>英語が得意でない人もいましたが、学生はみんな意欲が高いので、気軽に参加することをお勧めします。楽しく英語と異文化を学べるので、オンラインでもいい経験になると思います。もちろん直接渡航するに越したことはないですが、このご時世に英語を学ぶ最適な方法だと思います。</p>	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	文学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 179,000 円
実施期間	2月7日（月）～2月25日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
ずっと現地へ行って短期留学をしたいと思っていましたがやはりコロナ禍によってその希望は叶わず、しかしオンラインでもいいから参加してみようと思い、参加を希望しました。マギル大学を選んだ理由は、カナダは移民大国であり私の学問的関心に関連していたこと、また、カナダで話される英語はアメリカ英語つまり私たちが学校で学んできた英語と似ていると聞き、留学経験のない私にとって良いのではないかと思ったことが主に挙げられます。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
京都大学への留学生と英語で会話する機会を設けたり、英語のポドキャストを聞いたりするなどして出来るだけ自分の力で事前に英語に慣れておくよう努めました。	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20 名
学習時間/日	3～4 時間
授業・アクティビティの概要	※200 字以上

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

(1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
8:00~9:00 までは Conversation Partner Time と呼ばれるセッションで、受講生 5 人、スタッフ 1 人の少人数のグループで様々なトピックに関して話したり、ゲームをしたりしました。毎週火曜日のこの時間は Virtual Outing の時間で、マギル大学のキャンパスや町のバーチャルツアーを体験しました。その後 9:15~11:15 までが授業時間であり、カナダの文化（動物、食べ物、文化的建築物など）に関するものをテーマに挙げながら、主にリスニングとスピーキングの向上につながるようなアクティビティを行いました。また、毎週木曜日はこの時間は発音練習の授業の時間にあてられていました。ほぼ毎日課題がありますが、大抵一時間もあれば終わるものでした。しかし、2 回ほどプレゼンテーションがあり、その準備には少し時間を要しました。土曜日にはバーチャルホームステイとしてカナダの家庭と繋いでいただき、一時間強ほど互いの家族や文化について紹介しあいました。	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上	
(講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティの違い、参加中のトラブルなど)	
まず、講師の方々が本当に優しく、はじめは発言することにためらいがあつてなかなか発言できなかったが、講師の方が「間違えても大丈夫」と言ってくれたり、回答があつていたらすぐ褒めてくださったり、もし違っていても自然にフォローしてくださったりするなど、発言しやすい環境を整えてくださったのが非常に印象的でした。また、何度もブレイクアウトルームに分かれて作業をするのでどうしても能動的に活動する形となり、それが英語を使わなければならない機会を増やしてくれ、非常に良かったと思います。また、約 2 日間で短いプレゼンテーションの準備をしなければならなかったのですが、様々な場所に住む人と互いに他の予定もある中、英語で連絡を取り合つて（中国の学生さんは LINE を使えないので特に難しかったです）短い期間で準備をする経験が初めてで戸惑う部分もありましたが実践的な英語力を身に着けるのに非常に役に立ったのではないかと思います。	
参加学生のサポート体制について	
(プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
クラスを担当してくださった先生、コーディネーターの方、バーチャルホームステイの担当者の方など、全ての方が次の活動や課題など様々なことに関するメールを頻繁に送ってくださったので、自分のやるべきことが明確に分かり、非常に参加しやすかったです。	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上	
(英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
まず英語の能力に関することを挙げようと思います。スピーキングに関しては、原稿を作らずに英語でしゃべることが課題やプレゼンテーションをはじめとする活動で求められたので、言いたいことを即座に英語で言えるようになる力が少し向上したのではないかと思います。リスニングに関しては、聞く際のメモの取	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

り方を教えてくださったのが個人的に非常に有益な情報であり、それによって聞いた内容を後から確認して自分で簡単に説明できるようになりました。この作業によって自分が何が聞いて理解できていて、何が聞けていないのかを明確にすることができました。また、これらの作業はカナダに関することをテーマとしているのでカナダについての様々な情報が得られ、さらに興味を持つようになりました。8:00~の Conversation Partner Time では私のパートナーはマギル大学の学生さんで年も近く、互いに共感できるものもたくさんあって仲良くなり、最後には SNS を交換してつながりを得られたことが大きかったです。

このプログラムでは英語学習を続けるためのヒントをたくさん得ることができたので、ここでやめてしまわずに自分でまねできることをこれからも実践していきたいと思っています。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

このプログラムのスタッフの方々は心から私たちを歓迎してくれているのが伝わってきて、3 週間が本当にあっという間に終わり、非常に有意義な時間を過ごせます。他の参加者もみんな素晴らしい方々で非常に良い刺激になると思います。短期留学ではまだなかなか現地に行くことができない状況にあり、この先どうなるか分かりませんが、もし少しでも興味があれば是非参加してほしいと思う、そんなプログラムです。少し早起きを要する時間帯ではありますが（笑）、きっと有益なものがたくさん得られる経験になると思います。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	総合生存学館
課程・学年	博士課程・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2月7日（月）～2月25日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4.有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	私は英語の中でも特にスピーキングやリスニングスキルが不得意である。また、自分の日常生活ではネイティブスピーカーと会話する機会が少なかったため、とりわけ話すことに関してハードルがある。それゆえに、そういった時間を確保して、少しでも積極的に会話できるようにと応募した。
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	プレースメントテストは自分の現時点での実力を測るものだと考えていたので特に準備はしなかった。しかし、上述のようにとりわけスピーキング能力が欠けているので、覚えたセンテンスなどをアウトプットするように心がけていた。

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20名
学習時間/日	3～4時間

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>月曜日から金曜日までは、8 時 00 分から 9 時 00 分までは conversation partner time というマギル大学の学生とゲームをしたり、日本やカナダの文化に関して紹介し合うなどのアクティビティを行なった。木曜日を除く 9 時 15 分から 11 時 15 分までは授業が行われ（2 回のゲストスピーカーの講義も含む）、いくつかのオンライン提出の課題が出された。課題の内容は毎回テーマが与えられて 2 分以内のスピーチを録音するスピーキングパート、与えられた音声を聞いて質問に回答するリスニングパート、授業内で個別に行なったアクティビティの録画を提出するディスカッションパート、与えられたテーマに関する発表を行うプレゼンテーションパートなど毎日最低 1 種類が出された。木曜日は 9 時 15 分から 11 時 15 分まで pronunciation clinic という発音に特化した授業が行われた。また、土曜日の 8 時 00 分から 9 時 00 分にオンラインホームステイという時間があった。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>参加学生の多くが積極的に手を挙げて発言するのに対して、私は「私の話す英語が間違っていたらどうしよう」と消極的になってしまい、初めはそういった機会を逃してしまう場面も多かった。しかし、徐々に「別に間違ってもいいんだ」「うまく伝えられないと感じたところが自分の苦手なところなんだ」と割り切って、conversation partner time や授業内でも積極的に発言するという心を心がけるようになった。このような心の持ちようが自分の中で変化したことが印象に残っている。</p>	
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	
<p>プログラム参加前後で不明確な点がいくつかあり、プログラムコーディネーターの方にメールで問い合わせたところ迅速に快く対応していただいた。また、風邪を引いて授業を欠席する際にも今日はこういった課題が出たのでやっておいてくださいなど個別に丁寧に対応していただいた。</p>	

4 プログラム参加を振り返って

満足度	4.やや満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>このプログラムで得られた成果は大きく分けて二つある。まず第一に、英語で会話をするにあたって、発言することのハードルが下がったことである。参加学生の多くが積極的に手を挙げて発言するのに対して、私は「私の話す英語が間違っていたらどうしよう」と消極的になってしまい、初めはそういった機会を</p>	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

逃してしまう場面も多かった。しかし、徐々に「別に間違ってもいいんだ」「うまく伝えられないと感じたところが自分の苦手なところなんだ」と割り切って、conversation partner time や授業内でも積極的に発言するということを心がけるようになった。第二に、更なる英語力の向上に努めたいと心境の変化があったことである。このプログラムに参加している学生は、日本や中国のさまざまな学校から参加していたが、どの学生も英語で議論する能力が私よりも優れており、今後の自分自身の英語学習を鼓舞する結果となった。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

このプログラムの受講は、「英語で発言するのが恥ずかしい」、「間違えて発言したらどうしよう」など英語で会話をするのに自信がない方におすすめです。貴重な春休みですが、その期間を使って英語力（特にスピーキング、リスニング力）向上のきっかけを掴んでみてください。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	工学部
課程・学年	学部・1 年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2 月 7 日（月）～2 月 25 日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	5.とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	英語力、特にスピーキングの能力を向上させるために何か取り組もうと考えていました。夏季休暇に別のオンライン留学プログラムに参加したこともあって、この春期休暇にもオンライン留学をしようと思ったのがきっかけです。
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)
英語に慣れるために、リスニングの練習を普段からするようにしていました。	英語に慣れるために、リスニングの練習を普段からするようにしていました。

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input checked="" type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカーション <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	11～15 名

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

学習時間/日	3~4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	1 日の始まりは 4 人程度につき一人割り当てられたマギル大学の学生との歓談でした。様々な話題が用意されており、グループで楽しく会話することができました。授業ではプレゼンテーション、ディスカッションなどに加え、発音に関する授業もありました。非ネイティブの人たちが間違えやすい、苦手としやすい英語の発音を主に取り扱っており、非常に有意義な内容でした。
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	一番印象に残っているのは、2 つのグループに分かれ、それぞれ別の長いリスニング課題を聞いた後、それについて自分でまとめ、別グループの人に 5 分程度のプレゼンテーションをしたことです。リスニング課題を聞いて問題を解くことは日本の英語の授業でもよく行われていますが、その内容を自分で発表するのは初めての体験でした。より深い理解が求められるので、ただ部分的に聞くのではなく、全体の内容の把握のために注意深く聞く必要がありました。
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	プレゼンテーションのために授業外で生徒同士で議論をしたりしました。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

英語力の向上は間違いのないと思います。事前に行われたテストでクラス分けがされているのですが、自分と同じくらいの英語レベルの人と切磋琢磨しながら学ぶことができました。中には英語を大学で専門的に学んでいる学生もいて、その人に鼓舞され、自分も頑張ろうと思えました。毎日ディスカッションやプレゼンテーション、リスニングをこなす中で、自分が得意なこと、苦手なことも見えてきました。今後は自分の苦手な分野に関して、より練習を重ねていきたいと思います。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

非常に有意義な時間を過ごせました。海外には行けないけど、手軽に留学体験をしたい、そんな人におすすめです。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	農学部
課程・学年	学部・3 年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2 月 7 日（月）～2 月 25 日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	0.参加していない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>昨年度の夏休み他の英語に関するプログラムに参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする機会があったが、そのとき他の参加者との英語能力（特にスピーキング能力）の差を実感し、スピーキングの練習をする必要性を強く意識している中で、このプログラムを見つけた。このプログラムでは英語の文法やライティングよりもコミュニケーションを重視しているという紹介を読み、自分のスピーキング能力を伸ばすという目的に合致していると感じ、参加を決定した。大学から経済的な補助が出るという点も、このプログラムを選んだ理由である。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
ネット環境の確認、大学の予定の確認（集中講義など）、プレースメントテストの実施	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20 名

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

学習時間/日	3~4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	<p>午前 8 時から 9 時まで、現地の学生との交流（週 4）、エクスカージョン（週 1） 午前 9 時 15 分から 11 時 15 分まで授業。</p> <p>授業ではコミュニケーションの授業（スピーキング、プレゼンテーション、リスニング）が週 4 発音の矯正に関する授業が週 1</p> <p>現地の学生との交流は、毎回同じ人が担当しており、1 グループにつき、生徒 5 人、現地の学生 1 人という配分だった。</p> <p>コミュニケーションの授業と発音の矯正の授業は異なる先生が担当していた。</p> <p>課題としては、次回の授業で行うプレゼンの準備や、リスニング課題、スピーキングの課題などがあつた。 量としては無理なくこなせる程度で、多いとは感じなかった。</p>
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	<p>授業中に、英語で発言する機会が頻繁にあり、プログラムに参加した初期のころは少し困惑した。また、日本人以外にも中国からも生徒が参加しており、授業中に日本語を話すといったことは無く、日本人の生徒とも英語を使ってコミュニケーションを取る事ができたため非常によい学習環境だったと思う。</p> <p>また、教師以外にも、現地の学生と交流する機会があり、カナダの文化や日常的な英語のスピードを体験できた点に非常に満足している。</p>
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	<p>時差の影響もあって、メールの返信が遅いとは感じたが、その他で特に困ったことは無かつた。</p> <p>学生チューター、教師ともに積極的に親切だった。</p>

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	4.まあまあ効果を感じられる
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	<p>英語のスピーキングが最も鍛えられたと思う。プログラム中、英語を話す機会が多かつたため、流量に英語を話せる様になったと自分でも感じるし、何よりも英語を話す際に気恥ずかしさや抵抗感を感じにくくなったと感じる。また、スピーキング課題をこなす中で、自信を持って話せる様になってきたと同時に、自分一人で、これからどのようにスピーキング能力を伸ばすため練習をしていけば良いのかと言う点が明確になったと思う。</p>

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

私は、このプログラムに参加する前は、カナダの文化や教育、歴史についてほとんど知らなかったが、このプログラムで教師や現地の学生と交流する中で、カナダについて多くのことを知ることができ、より親近感をもつようになった。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

特に無いが、非常に高い英語力をはじめから求められるわけではないので、気楽に参加できると思う。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	農学部
課程・学年	修士課程・1年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2月7日（月）～2月25日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	5.とても有意義だった
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	英語力を向上させたかったからです。実践的な英語力を身につけるには、ネイティブスピーカーと話すことが一番効率的に英語力を向上させる方法であると考え本プログラムに参加しました。
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	オンラインツールの確認、スピーカーヘッドフォンの購入、英単語覚え直し、文法書の復習、留学先の情報収集

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	16～20 名
学習時間/日	3～4 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

1 時間 Conversation Partner とフリートーク、休憩を挟んで 2 時間ほど授業に出席するスケジュールでした。Idiom を学んでクラスメートと一緒に実際に使用してみたり、インタビューやリスニングの内容から自分の意見をまとめたり議論を行ったり、チームでプレゼンテーションの準備や発表を行いました。英語をアウトプットする機会が、日本の授業と比べて極めて多かったため、効率的に実践的な英語力向上を図ることができました。

フリートークの時間では、カナダの学生さんがリラックスした空気を作ってくれ観光や自分たちの専門科目など様々なトピックについて話すことができました。

授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上

（講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティの違い、参加中のトラブルなど）

印象に残ったことは大きく分けて 3 つあります。1 つめは、McGill 大学の学生は様々な国の出身者いることです。2 つめは、授業内でアウトプットが多い点です。日本の授業では、インプットが多く生徒の姿勢が受動的になりがちですが、本プログラムでは徹底して積極的な姿勢を求められました。3 つめは、マルチリンガルの方のお話です。20 カ国語以上の言語を使うことができる人で、言語習得の際は自分が楽しめるツールを使う重要性について知る事ができました。

参加学生のサポート体制について

（プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など）

プログラムコーディネーター、現地学生チューター、参加学生とても協力的でした。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	4.難しかった
学習効果	5.とても効果が感じられる

プログラムで得られた成果 ※300 字以上

（英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など）

本プログラムで得られた成果は多くわけて 3 つあります。1 つめは、英語のスピーキング力の向上です。今まで経験したことのない長時間英語を話す機会に恵まれたのでスピーキング力は格段に向上していると思います。2 つめは、リスニング力の向上です。現地の人と話すことで英語を勉強する必要性を実感でき、授業だけではなく普段の生活でも英語を取り入れる事が増えました。現時点でも、参加する前よりリスニング力が向上していると感じています。3 つめが異文化理解です。カナダの学生さんはもちろんのこと中国の南京大学の学生さんとも交流する機会ができるため、参加する前よりも異文化理解が深まったように思います。また、授業内でカナダの歴史について学ぶことができカナダがどのように多民族国家としてそれぞれの文化を尊重しているのかを学ぶことができました。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス
リラックスすること。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	工学部
課程・学年	学部・1 年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2 月 7 日（月）～2 月 25 日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	4. 有意義だった
応募・申込手続き	5. とてもわかりやすかった
参加を希望した理由 ※100 字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
<p>コロナ禍の状況の中でも、海外の学生と触れ合う体験をオンラインで行いたかったため。また、英語のリスニングやスピーキング能力を確認して、できる限り高めたいと考えていたため。さらに、学部在学中に海外大学への交換留学を志望しており、その準備になるとも考えたため。</p>	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
<p>オンライン留学のプログラム自体は、KULASIS のページで説明会の案内や資料等多くの情報が確認できたので、スムーズに準備が出来たと考えている。留学決定後は、大学側から届くメールを確認し、手続きを進めるが、特に難点や問題点なく進めることが出来た。</p>	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input checked="" type="checkbox"/> 学生交流 <input checked="" type="checkbox"/> 文化体験 <input checked="" type="checkbox"/> エクスカーション <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
----------	--

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

クラス参加人数	16~20 名
学習時間/日	1~2 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	
<p>私の場合、8 時から 9 時まで 1 時間ほどマギル大学の学生の方と会話をを行い、9 時 15 分から 11 時 15 分まで 2 時間程講義を受ける、というサイクルを 3 週間継続した形となる。毎週木曜日の講義では、発音練習のための Pronunciation Clinic を受講した。また、毎週日曜日に 1 時間ほどモントリオールに在住の方と zoom 上で話す Virtual Homestay にも参加した。毎週火曜日には、マギル大学の学生が実際にモントリオールの街を散策し、その様子を zoom から紹介する Virtual Outing in Montreal の時間があり、実際に街を訪れた際の雰囲気を知ることができ、非常に有意義であった。最終日には、1 時間程 Farewell Party があり、軽いゲームや会話をして本プログラムは終了した。講義では、ゲストスピーカーを 2 人程招いてもらい、スピーチを聞くことや短いプレゼンテーションやアクティビティを行った。また、授業内でもリスニング課題に取り組むことや、発音の練習をする時間が与えられたりもした。</p> <p>課題に関しては、各プレゼンテーションやアクティビティの準備やゲストスピーカーへの質問やお礼のメールを書くこと、またリスニング問題を各自で解くことを求められた。</p>	
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	
<p>参加学生は、私のクラスでは 20 名程おり、数名は中国から受講していた。他は全員日本人であったと記憶している。講師は、基本的に講義では 3 週間同じ講師であることが通例だが、私のクラスでは途中で 1 人入れ替わることになった。また、Pronunciation Clinic では毎週同じ別の講師が割り当てられる。どの講師の方も、非常にわかりやすい英語で講義を進めてくれ、しゃべりやすい雰囲気を作ってくれていたため、リラックスした状態で講義を受けることが出来たと感じる。どのセッションにも共通して言えることは、zoom のブレイクアウトルームの機能を使って、複数人と議論や話し合いをする場面が多くあることだ。1 対 1 でのコミュニケーションに加えて、グループ内で英語によって意思疎通を図る技能を身に付けることができる。私自身は、こうしたグループディスカッションの経験がこれまで乏しかったため、今回のプログラムで少し改善された部分があった。英語という制約の中でこうしたディスカッションを行ったことから、日本語を用いたコミュニケーションの技能も改善されたと感じる。日本の授業との違いはこうしたディスカッションの場が頻りに設けられることや、自分の意見を話すことや授業中に zoom のカメラをオンにすることが推奨される点などにあると考えている。</p>	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)
授業中に分かりにくい部分や課題に関する質問事項があれば、メールを送信することで対応して下さったので、サポート体制はなっていると感じる。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	5.満足
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	5.とても効果が感じられる
プログラムで得られた成果 ※300字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	
<p>まずは、前述したとおりグループディスカッションにある程度慣れることが出来たことである。ただし、今後とも英語を用いた会話や雑談を複数人で行うことは非常に有意義であると感じるので、こうした場面を自ら設けていくように努めなければならない。また、授業の課題として、英語を使った新しい取り組みを始めることが要求されたので、英語圏の映画を視聴することや、ポッドキャストを聴くといった試みを始めるきっかけとなり、より英語に慣れ親しむ機会が増えて、私としては楽しい経験をさせていただいた。授業中においても、映画の切り抜きを見ることが、英語によるスピーチや発表を聞くこと、また日々リスニング課題に取り組むことで少しでも英語に触れる時間を増やすことが出来たので、リスニング力を鍛えることができたと考えている。加えて、自らプレゼンテーションを行うことや、授業中やマギル大学の学生との会話の時間に英語を話す機会が設けられたので、スピーキング力を伸ばすには大変良い場面であったと感じている。マギル大学の学生や講師の方、Virtual Homestay 先の家庭と連絡をとることができる状態になっており、現地を訪れる際には是非お会いしたいと考えているので、こうしたネットワーク構築も可能であると考え。さらに、異文化交流、理解に関しては Virtual Outing in Montreal の時間で、モントリオールの街並みを紹介していただいた際に、その建築様式、通りの造りなどが日本の都市部と異なる部分が多々あることや、Virtual Homestay 先において紹介した日本の風習に関してあまり馴染みがないようであったことなどから、日本との違いを垣間見ることができたと感じる。</p>	

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

オンライン留学では、現地に直接行くことが出来ず、講義後は日本語の生活に戻ってしまうが、海外の学生や講師の方と触れ合う良い機会であるので、コロナの影響で海外渡航が難しくなっている現状を鑑みると、留学を考えている人にはおすすめのプログラムとなっている。

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

2021 年度短期オンライン留学プログラム（英語研修）参加報告書

所属学部/研究科	経済学部
課程・学年	学部・2年

1. プログラム基本情報

留学先国・地域	カナダ
大学名	マギル大学
プログラム名	English & Canadian Culture from Abroad (ECCA)
参加費	約 158,000 円
実施期間	2月7日（月）～2月25日（金）
実施形式	<input checked="" type="checkbox"/> ライブ <input type="checkbox"/> 録画 <input type="checkbox"/> ハイブリッド <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）

2. プログラム参加に向けて

学内オンライン説明会	3.どちらともいえない
応募・申込手続き	4.わかりやすかった
参加を希望した理由 ※100字以上 (なぜオンライン留学をしようと思ったのか、なぜ本プログラムを選択したのかなど)	
私は大学院に進学したいと考えており、その時新型コロナウイルスの感染が落ち着いており留学ができそうなら海外の大学院に行く可能性も視野に入れていたため、今回のオンライン留学を通じて英語の能力、特にスピーキングの能力を高めたいと思い本プログラムを専攻しようと思った。	
オンライン留学にあたって、どのような準備を行いましたか (例えば、留学先の情報収集、プレースメントテストの準備、オンラインツール・環境の確認など)	
オンラインでの留学だったため、ヘッドホンを用意するなど環境を整えた	

3. プログラム参加中について

プログラムの内容	<input checked="" type="checkbox"/> 授業 <input type="checkbox"/> ワークショップ <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 学生交流 <input type="checkbox"/> 文化体験 <input type="checkbox"/> エクスカージョン <input type="checkbox"/> その他（テキスト入力）
クラス参加人数	20名以上

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

学習時間/日	1~2 時間
授業・アクティビティの概要 ※200 字以上 (1 日のスケジュール、日々の学習や課題の内容・量・時間、参加したアクティビティの内容など)	朝 8 時から 9 時までは現地の学生と日本や中国からの留学生と交流を深めた。自己紹介や英語でのゲームを通じて英語のスピーキング能力やリスニングの能力を高めるいい機会になった。9 時 15 分から 2 時間はクラスでの授業を受けた。毎週金曜日には発音の授業をうけ、自分が今まであまり意識していなかったことを学ぶことができる機会だった。毎日課題が出たが、自分の予定が 11 月に想定していたよりも多くなり、課題の量は個人的には多く、こなすのが大変だった。
授業・アクティビティで印象に残ったこと ※200 字以上 (講師・参加学生の様子、日本における授業やアクティビティとの違い、参加中のトラブルなど)	留学以外の予定が多く、留学に咲くことができる時間が少なかったこともあって申し込んだときよりもモチベーションが下がっていたが、周りの学生は自分よりも高いモチベーションをもって積極的に発言している学生も多いため自分にとってすごく刺激になった。日本の授業と違って、学生に発言を求めることが授業内でかなり多かったが、自分はあまり積極的に発言できなかったが、一部の学生は真っ先に手を挙げて発言していたのが印象深い。中国の留学生と交流するときはずっと英語で交流するしかなく、自分の意図していることが相手に伝わっているか不安だった。
参加学生のサポート体制について (プログラムコーディネーター・現地学生チューターによる支援、参加学生同士の協力など)	参加学生同士で分からないところを相談することができてよかった。

4 プログラム参加を振り返って

満足度	3.どちらともいえない
難易度	3.どちらともいえない
学習効果	3.どちらともいえない
プログラムで得られた成果 ※300 字以上 (英語のスピーキング力・リスニング力向上、異文化理解・交流、現地学生とのネットワーク構築など)	自分のスピーキングの能力がかなり足りてないと痛感した。英語の文章を読んでいるときには何となく意

短期オンライン留学プログラム（英語研修）2022 春_共通

味が分かると思っていた単語や文章もいざ会話の中で使おうとするととても難しく、普段自分が日本語で話していることを英語で言おうとするときなんて言えばいいのかわからず困惑することは授業中に多々あった。また、自分が知らない単語もまだまだたくさんあると痛感した。大学受験の時に英単語の勉強はかなりやったつもりでいたが実際に会話で出てきた単語の中には知らない単語や表現も多かったように思う。また、リスニングの能力も足りないと感じた。1 回生のころの英語の授業を受けて以来あまり英語を聞く機会がなく、リスニングの勉強をおろそかにしていたつけが回ってきたと感じた。ただ、意外とつたない英語でも相手に伝わるということが分かったのは自分にとって大きな教訓だった。海外に行く機会があったら臆せず話すようにしたい。

今後、プログラム参加を希望する学生へのアドバイス

何も予定がない状態で参加し、この機会を最大限活かせるよう頑張してほしい